

# 施策評価管理シート

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	2023(令和5)年6月作成	
	基本施策	3	安全で安心なまちづくり	担当部局(室)名	部局長名
	施策	2	防犯・交通安全	危機管理室	宮崎 正秀

## 1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 地域ぐるみで健全な生活環境の形成や防犯活動に取り組みます。
- 時代の流れに合った消費者生活に関する啓発、関係部署等との連携を活用した相談体制の充実に取り組みます。
- 人命尊重と市民生活における安全の確保を基本とした快適な交通環境を整備するとともに、市民の交通安全に対する意識の向上を図ります。
- 通学路の安全確保のため、名張市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検による要対策箇所に対して、安全施設等の整備を進めます。

## 2. 令和4年度の取組内容及びその成果



- ・生活安全推進協議会防犯部会では、各地域の防犯組織との連携や自主的な「ながら活動(例:散歩をしながら、用事をしながら等)」による見守りや青色回転灯パトロールによる地域巡回などの防犯活動を行うと共に、教育委員会所管の青少年育成市民会議や名張警察署所管の名張地区防犯協会等の取組へ参画することを通じ、防犯意識の高揚に努め、安心・安全なまちづくりを推進しました。
- ・生活安全推進協議会交通安全部会委員による定期的な街頭指導活動により、小学校児童らの通学時の交通安全見守りを継続的に行いました。
- ・名張市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検を学校、道路管理者、警察などの関係機関が連携して実施し、要対策箇所を洗い出し、対策手法を検討しました。また、地域からの交通安全施設要望についても警察に進達し改善に努めました。
- ・警察など関係機関と連携し、交通安全運動や中学生を対象とした歩行者・自転車の交通安全教室などを通じて交通安全啓発活動を実施しました。
- ・市内外の相談機関の把握に努め、専門性を要する相談は即時適切な相談機関と連携し、弁護士相談等の主催相談事業はワンストップで予約受付しました。また、相談内容の複雑化等に対応するため、相談員2名体制で消費生活相談を行いました。
- 専門相談…242件(弁護士相談、交通事故相談、行政相談、司法書士相談、行政書士相談等)
- 消費生活相談員等相談受付件数…576件(窓口…148件、電話…423件、多重債務紹介状…5件)
- ・地域づくり組織、名張市消費生活協議会等からなる消費者被害防止ネットワークプロジェクト(参画団体17団体、推進チーム4部署)に情報発信を行いました。
- 緊急広報件数…1回
- ・マイナンバーカード発行手続き窓口や成人式にて、消費者被害防止を啓発するポケットティッシュやマスク等の配布を行いました。
- ・消費者被害防止に関する出前トークを計8回実施しました。(高齢者向け5回、高齢者等見守り者向け1回、一般向け1回、乳幼児保護者向け1回)

## 3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	達成率
犯罪に対して不安感を持っている市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	46.0	79.7%
	成果	53.4	58.3	52.4	53.3	56.2	47.5	
交通安全啓発活動等への参加人数(人)	目標	-	-	-	-	-	1,020	0.0%
	成果	1,010	970	900	480	620	940	

## 4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い名張川納涼花火大会などへの人出が増えることが予想されることから、生活安全推進協議会防犯部会としても、防犯活動の重要性を再認識するとともに効果的な防犯活動実施する必要があります。
- ・令和5年4月末現在、本年の市内の交通死亡事故は1件であり、総事故件数は600件と昨年に比べ55件増加しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出制限などで減少傾向にありましたが、行動制限の緩和などにより事故件数は増加しています。
- ・通学路における交通安全施設の補修・修繕箇所は名張市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検により、通学路の安全確保を図るロードマップは整理されていますが、これらのすべてを対処することは予算的にも困難であることから、優先度により整備する必要があります。
- ・令和4年4月施行の民法改正に伴い、成年年齢が20歳から18歳へ引き下げられたことにより、若年層を狙った悪徳商法の増加が見込まれることから、若年層への消費者被害防止の啓発を強化する必要があります。
- ・特定商取引法改正による通信販売の定期購入の表示方法やクーリングオフの通知方法、契約書の電子交付等の変更点について、市民への周知を図る必要があります。

## 5. 分析結果を踏まえた新総合計画推進に向けた施策の取組内容(令和5年度以降)



- ・生活安全協議会防犯部会では、警察など関係機関との連携を密にするとともに、「ながら活動」や交通安全部会との連携による見守り活動など、地域の実情に応じた安心・安全の取組を継続的に進めます。また、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い人出の増加が見込まれる大祭において防犯活動を実施します。
- ・「交通安全指導者研修会」や例年秋の交通安全運動期間中の「交通安全フェスタ」を再開するなど交通安全啓発活動を予定しています。また、年末には、飲酒運転根絶に係る啓発活動も予定しております。
- ・名張市通学路交通安全プログラムに基づく関係機関との合同点検の実施及び合同点検による要整備箇所を優先度の高いものから着実に実施します。また、地域からの交通安全施設要望についても関係機関と連携し対処します。
- ・引き続き、警察や県など関係機関と連携して交通安全啓発に関する事業に取り組み、市民の交通安全に対する意識の向上を図ってまいります。
- ・法改正に伴う内容の周知、若年層が消費者被害に遭いやすいテーマについて、広報による周知や啓発品の配布を行い市民の消費者力の向上を目指します。

## 施策を構成する主な事務事業

\*R4決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和4年度内容	R4決算額	うち 一般財源
一般	地方消費者行政推進事業	市民部	市民相談室	消費生活相談員2人を配置し、地域社会における消費者問題の未然防止・解決力の強化に取り組みました。 ・窓口相談 148件 ・電話相談 423件 ・多重債務相談 5件 ・消費者被害ネットワークプロジェクトによる啓発（参画団体 17団体、緊急告知FM放送 1件） ・定時FM放送 47回 ・出前トークにて消費者トラブル啓発 8回 ・市民相談窓口、情報発信コーナーでのパンフレットの配布による啓発 ・市役所手続のための外国人総合窓口の開設 外国人相談 21件 ・エシカル（倫理的）消費啓発（市民相談窓口、情報発信コーナーでのパンフレットの配布による啓発） エシカル工作教室 3回	6,672	6,065
一般	交通安全施設整備事業	都市整備部	維持管理室	安全で快適な通行を確保するために、道路反射鏡・防護柵・区画線等の交通安全施設を整備しました。 ・道路反射鏡（設置 N=5基、補修 N=7基） ・その他補修は随時	6,999	6,999
一般	社会資本整備総合交付金事業（交通安全施設整備）（道路河川室分）	都市整備部	道路河川室	国の社会資本整備総合交付金制度を活用し通学児童の安全で快適な通行を確保するために、通学道路を整備するとともに、歩道が未整備である区間の歩道を整備しました。 ・歩道整備、路側整備工事 2路線 ・測量設計等 1路線	27,264	1,334
一般	社会資本整備総合交付金事業（交通安全施設整備）（道路河川室分）	都市整備部	道路河川室	（令和3年度繰越分） ・歩道整備、路側整備工事 3路線 ・測量設計等 1路線	123,220	201